

お母さんとの七十日

福岡県 小郡市立のぞみが丘小学校 六年

なかむら
中村 有希

私は六人家族です。お母さんは、いつも仕事をしていていそがしそうにしています。お母さんは、

「勉強した？ピアノの練習は？」

「お手伝いをちゃんとしなさい。」

などうるさく言いますが、分らない時は教えてくれます。そんなお母さんと一年前ががんばったことがあります。

私の学校では運動会で倒立をしなくてはなりません。一学期の終わりの方から体育で倒立の練習が始まりました。クラスの半分以上の人ができていました。私はできなかつたけど、まだ2か月もあるので大丈夫だと思っていました。家での練習としてお母さんに教えてもらうことにしました。そこから、私とお母さんの倒立の練習が始まりました。私は何回も練習したけど、できなかったのので一学期の終業式に先生にコツを教えてもらいました。お母さんは、

「まだ2か月あるから大丈夫よ。夏休み中にいっしょにがんばろうね。」

と、言ってくれました。私は、先生が教えてくれたコツどおりにしましたが、できませんでした。私が困って、と方に暮れてみると、とうとうお母さんが、

「お手本見せちゃる。」

と、言っって重い体に勢いをつけて、足をふり上げました。初めてできていませんでしたが、五回目でついに成功しました。

私は何日か練習しましたが、足が上がらないままおぼんをむかえました。おぼんの集まりの時に、私は倒立ができないことを話すと私のおぼんがお手本を見せることになって、続けておじさんも、お母さんも、お父さんもみんななかべ倒立をしました。私は、わあすごい、と思い自分でも、もつとがんばってみようと思いました。

それから、毎日毎日、練習していると恐怖心がなくなり、急に足が上がりできるようになりました。

そして、むかえた当日、私は倒立をする時思いっきり足を上げました。しかし、手のバランスをくずし、倒立はくずれてしまいました。私は、遠くで応えんしているお母さんを見ると泣いているように見えました。

長かった倒立の練習。本番では失敗したけどいい思い出になりました。今年は六年生。運動会での倒立を今年こそは成功させたいです。そして、お母さん、倒立の練習を手伝ってくださりありがとうございます。